

本年度の重点目標

組織名	学校評議員会
	評 価 者
	学校評議員 5名 (保護者1名含む)

(1)個性や能力の伸長に向けた、きめ細やかな学習指導の充実 (2)生徒の多様化に対応し、健康・安全教育や教育相談活動の充実 (3)地域と保護者との連携を重視した教育活動の充実 (4)国際理解・グローバル教育、外国語教育などを通し、外国語(英語)による思考力・判断力・表現力の育成 (5)6年間を見通した計画的な進路指導の充実 (6)年齢の異なった生徒による相互交流とボランティア活動、自然体験活動、芸術鑑賞等、異年齢集団による活動や本物に触れる活動の重視	
重点目標の適切さ	今年度の重点目標は適切であると判断する。引き続き、「生徒を主語に」を大切にし、自己肯定感をもてるように一人一人の好奇心を引き出す教育活動を希む。

評価項目・指標等				達成状況	取組の適切さ	今後の改善の方策	自己評価の結果 の内容の適切さ	取組の適切さ	今後の改善 策の適切さ
大項目	中項目	小項目							
教務部	学習指導	1	シラバスを適切に運用し、授業の進度や難易度は適切であったか。	A	B	〇「主体的・対話的で深い学び」の具体的な授業改善を示し、授業や評価方法の改善に引き続き取り組む。 〇エビデンスを基に、各教科で具体的な方策を立て、シラバス等に反映させる。 〇教科部会等を時間割上に設定し、研修や協議の機会を確保する。また、次年度は校内研修を計画的に立案し、全員でなくてもフレキシブルに参加出来るような体制を作る。	A	B	A
		2	生徒の学習意欲を喚起させるような方策を立て、実践しているか。	B	B				
		3	クロムブック等ICT機器を活用し、個別・協働的な学習指導を実践しているか。	B	B				
		4	身に付けさせたい資質・能力に基づく、きめ細かな学習指導・評価の充実に努めているか。	B	B				
		5	国際理解教育や外国語教育などを通し、実践的なコミュニケーション能力や語学力の育成を行っているか。	A	A				
		6	異年齢集団による教育活動(行事や部活動等)の充実に努めているか。	B	A				
		7	授業評価の内容および実施は、教職員の資質等を向上させるものであったか。	C	C				
		8	校内研修を計画的かつ定期的に実施しているか。(研修を生かした教育活動を工夫しているか。)	C	C				
評価者の意見等				・シラバスに基づく明確な授業計画やICT活用による個別・協働学習、国際理解教育、異年齢集団教育の充実に高く評価する。 ・次年度は校内研修の自主的な実施体制の構築も提案されており、より一層の教職員の資質向上を求める。					
生徒指導部	生徒指導	9	生徒指導体制が確立され、状況に応じて組織的に対応しているか。	B	A	〇生徒指導に関する記録を共有できるようにする一方、情報管理を徹底する。 〇ボロシャツについては、来年度も同様の実施予定である。 〇部活動の特例申請については、規約と顧問会議の資料の整合性を取る方向で調整する。	A	A	B
		10	発達段階や集団の構成に応じた望ましい生徒集団の育成に努める活動を展開しているか。	B	A				
		11	基本的な生活習慣を確立させるための指導を行っているか。	B	A				
		12	望ましい規範意識の育成につながる自律心を育む指導を行っているか。	B	A				
		13	教育相談体制が整備され、計画的かつ状況に応じた活動を行っているか。	A	B				
		14	いじめや学校不適応生徒への取組や、予防的な取組が適切に実施されているか。	B	B				
15	生徒の自主的な活動を充実させる取組が適切に実施されているか。	B	A						
評価者の意見等				・高評価の維持は日頃の目配りや気配りの成果である。予測不能な事態への対応体制の継続が求められる。 ・いじめ対応のフローチャートを組織図化し、教職員に周知する取り組みも適切である。					
進路指導部	進路指導	16	6年間を見通した進路指導体制を確立し、希望進路実現に向けた組織的な指導を行っているか。	B	B	〇調査や進路行事の前後において進路通信の発行に取り組む。 〇3月を移行期間としてClassiを導入し、4月から活用できる体制を作る。	A	A	A
		17	早期に自己理解を促し、生徒が主体的に進路選択できるように、計画的で系統的な進路指導を行っているか。	B	A				
		18	十分な進路情報の提供を行い、学校・生徒・保護者が一体となった指導を進めているか。	B	A				
		19	効果的な進路指導法の研究を行い、全教職員の指導力向上を図ることに努めているか。	B	B				
		20	進路相談体制を整備し、進路相談の充実を図っているか。	B	B				
		21	セミナーやスタディサプリ、模擬試験等を計画的に実施し、生徒の学習を支援しているか。	B	A				
評価者の意見等				・生徒や保護者の満足度が高く、生徒の進路実現、自己実現につながっており、頑張っている生徒の姿が伺える。 ・進路指導においては早期の自己理解と主体的な進路選択、系統的な進路指導またはそれらを6年間の見通しを立てて実現に向けていくことは非常に難しいが、生徒・保護者は高く評価しているため、次年度も一層期待する。					
生徒指導部	保健・安全	22	教職員及び生徒の安全対応能力の向上を図るための取組(交通安全指導・避難訓練等)が行われているか。	A	A	〇予防的に生徒の声を拾う仕組み作りを行うことを一層充実させる。	A	A	A
		23	日常の健康観察や疾病予防、生徒の自己健康管理能力向上のための取組を行っているか。	A	A				
		24	生命を尊重し、思いやりの心を育む指導を推進しているか。	B	A				
		25	校内支援体制が整備されているか。(教育相談、校内委員会、特別支援教育コーディネーター、校内研修等)	B	A				
評価者の意見等				・ピンクシャッターなどにも積極的に参加し、自他を思いやる心を育む取組をしている。					
対外・総務	組織・運営	26	各種行事等におけるPTAとの連絡調整が図られ、適切な運営に努めているか。	A	A	〇来年度は胆振管内に加え、道央圏(千歳、恵庭、北広島)へのチラシ配付を検討する。 〇学校案内パンフレットやポスターの内容を工夫し、積極的な生徒募集活動を行う。	A	B	B
		27	校外の関係諸団体と連絡・調整が図られ、行事等の適切な運営が行われているか。	B	A				
		28	学校評価を軸としたPDCAサイクルが確立されているか。	B	B				
		29	本校の教育活動を広く伝えるため、広報活動等の改善を行っているか。	B	B				
評価者の意見等				・受検者数の減少について分析し、本校の良さを様々な形でアピールする仕組み作りをお願いする。					
倉務部	寄宿舎	30	生活習慣を確立し、異年齢交流を活かした寄宿舎生同士の良好な人間関係の構築に努めているか。	B	B	〇寄宿舎生徒・保護者・教師に開かれた寄宿舎運営を充実させる。 〇主体的に生徒が学習に取り組むことができる仕組みに変えていく。	A	B	B
		31	主体的に生活改善する姿勢の育成のため、各回生のリーダーやエリアリーダーを中心とした組織運営を行っているか。	B	B				
		32	HR担任や宿直担当、スクールカウンセラーと連携して教育相談を効果的に実施しているか。	B	B				
		33	回生に応じた学習環境の整備と、学習意欲の向上を図っているか。	B	B				
評価者の意見等				・異年齢交流を活かし、生徒間交流が良 好であると評価する。また、寄宿舎の 組織的な運営においても、各回生リーダーが中心となって主体的に生活改善 し、SCとの連携等がなされている。 ・引き続き保護者が安心し、子どもたち も自己実現できるように指導をお願い する。					
その他	経営方針等	34	道内唯一の道立中等教育学校として、ここできけない教育を探究できているか。	C	B	〇「本校の学びを通して身に付けさせる資質・能力」を日々の教育実践として積み重ねていくことが大切である。 〇AKB広報推進プロジェクト委員会を立ち上げ、生徒募集の在り方を様々な立場から 意見をもらい、本校への志願者数を増やす。	A	B	B
		35	研究指定での成果を教育活動に応用しているか。	B	B				
		36	校内研修日の完全下校を実施し、研修に努めやすい環境整備をしているか。	B	B				
		37	完全退勤日や部活動休止日の設定など、勤務時間縮減に向けた取組がなされたか。	B	B				
評価者の意見等				・登別市にとって、明日中等教育学校の存在は大きく、影響力があるので、特色ある教育活動の展開を期待したい。					